

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学10							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	4期	鴨田 佳典		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復師として関節損傷を正しく評価できるようになる為に、解剖学的な関節の構造、関節に関わる身体的要素を中心に講義を進めていく。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師で取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えるため、関節損傷を中心に依る物理療法機器の取り扱い及び柔道整復術適応の臨床的判定の知識を身に付ける						
	<b>到達目標 (SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 関連する解剖学的知識を選択できるようにする。 2. 物理療法機器の取り扱いが選択できるようにする。 3. 物理療法機器の意義・効果を選択できるようにする。 4. 柔道整復術適応の臨床的判定を選択できるようにする。					
履修に必要な予備知識や技能							
関節に関わる解剖学的知識や柔道整復学・理論編 関節の損傷(総論)							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業で必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	関節損傷、身体的要素①「総論」 4択問題の選択			p.59～66	柔道整復学・理論編		
第2回	関節損傷、身体的要素②「顎関節等」 4択問題の選択			P163～	同上		
第3回	関節損傷、身体的要素③「胸鎖・肩鎖関節等」 4択問題の選択			P225～	同上		
第4回	関節損傷、身体的要素④「肩関節等」 4択問題の選択			P239～	同上		
第5回	関節損傷、身体的要素⑤「肘関節等」 4択問題の選択			P279～	同上		
第6回	関節損傷、身体的要素⑥「股関節等」 4択問題の選択			P366～	同上		
第7回	関節損傷、身体的要素⑦「膝関節部等」・「足関節・足部等」 4択問題の選択			P397～, 401～, P436～	同上		
第8回	まとめ				同上		
第9回	試験				同上		
第10回	振り返り				同上		
実務経験と本講義との関連について							

柔道整復師として接骨院に勤務。医療機関での実務経験をもとに話をします。

メールアドレス
kamoda@nihonisen.ac.jp